

# 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 小野建株式会社 上場取引所 東 福  
 コード番号 7414 URL http://www.onoken.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理統括本部長 (氏名) 小野 哲司 TEL 093-561-0036  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	140,317	12.0	4,220	△20.3	4,349	△19.1	2,969	△16.8
2023年3月期第2四半期	125,280	21.5	5,294	△22.8	5,373	△23.2	3,568	△25.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,426百万円 (△5.8%) 2023年3月期第2四半期 3,637百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	118.71	115.28
2023年3月期第2四半期	152.74	138.66

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	199,790	92,678	46.0
2023年3月期	188,688	90,321	47.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 91,922百万円 2023年3月期 89,620百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	46.00	—	44.00	90.00
2024年3月期	—	36.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,583	9.1	9,370	△3.8	9,574	△3.8	6,709	△4.5	268.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	25,254,114株	2023年3月期	25,254,114株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	227,326株	2023年3月期	250,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	25,013,268株	2023年3月期2Q	23,362,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症蔓延に対する影響が徐々に縮小し、経済活動も正常化に向かいつつあります。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻など海外情勢の急激な変動に伴う為替の円安とインフレの進行によりグローバルな経済環境は大きく変化している状況で、引き続き今後の景況感に不透明感が漂う状況となっております。

当社グループが属している鉄鋼・建材流通業界におきましては、国内の需要動向は業種業態によりばらつきがあり、特に建設関連においては大型工事が非常に多く中小型工事としての需要は盛り上がり欠ける状況となるなど需要の偏りが顕著となっております。また、鉄鋼商品市況におきましては、鉄鋼商品の主原材料である鉄スクラップ市況が軟調に推移したこと等から期初から若干弱含みで推移いたしました。今後も需要環境は依然として地域、業種業態によりばらつきのある状況は変わらず推移する見込みとなっております。

当社グループにおきましては、鉄鋼商品販売事業については、需要が盛り上がり欠け、鉄鋼商品市況も若干弱含みで推移するなかで、各拠点在庫の拡充並びに加工設備の新增設により、販売数量確保と鉄鋼商品市況に左右されにくい安定した収益向上に向けて積極的に営業展開してまいりました。

また、建材商品販売事業・工事請負事業につきましても、受注分の大型工事案件が順調に進捗するとともに、大型工事を中心に受注が順調に推移しており、かつ、災害復旧工事向け等土木建材商品などの受注活動にも注力してまいりました。

業績につきましては、売上高は、鉄鋼商品販売事業において販売数量、販売単価ともにほぼ前期並みで推移したこと、工事請負事業が大型工事物件を中心に順調に進捗したことから1,403億17百万円（前年同期比12.0%増）となりました。人員の増加とベースアップに伴う人件費の増加並びに拠点整備に係る設備投資にかかる費用の増加などにより販管費が増加し、営業利益42億20百万円（前年同期比20.3%減）、経常利益43億49百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①九州・中国エリア

前年同期に対し、工事請負事業が大型工事物件を中心に順調に進捗したことを主要因として、売上高は増加いたしました。損益につきましては、販管費の増加により減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は729億11百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は19億26百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

#### ②関西・中京エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売事業において販売数量が増加したことから売上高は増加いたしました。損益につきましては、鉄鋼商品販売事業の販売数量は増加したものの利益率が低下し売上総利益は前年同期並みとなり、販管費の増加により減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は368億8百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は8億69百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

#### ③関東・東北エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売事業において販売数量が若干増加したこと、工事請負事業が大型工事の進捗が順調に推移したことから、売上高は増加いたしました。損益につきましては、販管費の増加により減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は305億97百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は13億98百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産の部）

前連結会計年度末比111億1百万円増加し、1,997億90百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が11億18百万円減少したものの、電子記録債権が41億78百万、土地が31億66百万、有形固定資産のその他が42億59百万円増加したことによるものです。

#### （負債の部）

前連結会計年度末比87億44百万円増加し、1,071億12百万円となりました。主な要因は、短期借入金が76億50百万円、未払法人税等が10億10百万円増加したことによるものです。

#### （純資産の部）

前連結会計年度末比23億57百万円増加し、926億78百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が18億69百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、本日（2023年11月10日）付で「2024年3月期第2四半期業績予想と実績との差異、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,975	3,428
受取手形、売掛金及び契約資産	62,335	62,462
電子記録債権	20,064	24,242
商品及び製品	31,563	30,445
原材料及び貯蔵品	3,491	3,484
その他	6,396	6,635
貸倒引当金	△120	△132
流動資産合計	126,706	130,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,924	21,365
土地	30,723	33,889
その他(純額)	5,487	9,747
有形固定資産合計	58,135	65,002
無形固定資産		
のれん	257	390
その他	259	274
無形固定資産合計	516	665
投資その他の資産		
その他	4,051	3,698
貸倒引当金	△721	△142
投資その他の資産合計	3,329	3,556
固定資産合計	61,982	69,224
資産合計	188,688	199,790
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,177	31,317
電子記録債務	21,781	20,805
短期借入金	35,200	42,850
1年内返済予定の長期借入金	52	52
未払法人税等	398	1,409
契約負債	199	218
賞与引当金	1,453	1,725
工事損失引当金	8	7
その他	4,823	5,334
流動負債合計	95,094	103,721
固定負債		
社債	981	981
長期借入金	118	96
役員退職慰労引当金	6	7
退職給付に係る負債	1,101	1,261
資産除去債務	171	172
その他	893	872
固定負債合計	3,273	3,391
負債合計	98,367	107,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,537	6,537
資本剰余金	6,498	6,504
利益剰余金	76,797	78,666
自己株式	△341	△309
株主資本合計	89,491	91,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	540
繰延ヘッジ損益	△2	46
退職給付に係る調整累計額	△125	△62
その他の包括利益累計額合計	129	524
非支配株主持分	700	755
純資産合計	90,321	92,678
負債純資産合計	188,688	199,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	125,280	140,317
売上原価	111,975	127,058
売上総利益	13,305	13,259
販売費及び一般管理費	8,010	9,038
営業利益	5,294	4,220
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	16	26
受取家賃	38	40
投資有価証券売却益	—	42
その他	53	49
営業外収益合計	112	161
営業外費用		
支払利息	13	15
その他	19	16
営業外費用合計	32	32
経常利益	5,373	4,349
特別利益		
固定資産売却益	—	26
特別利益合計	—	26
特別損失		
固定資産売却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	5,370	4,375
法人税等	1,736	1,343
四半期純利益	3,633	3,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,568	2,969



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,633	3,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	282
繰延ヘッジ損益	△3	49
退職給付に係る調整額	△0	62
その他の包括利益合計	3	394
四半期包括利益	3,637	3,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,572	3,360
非支配株主に係る四半期包括利益	64	66

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、興永鋼材株式会社(本社:広島市南区)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、2023年9月30日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。